



玄海の月 1976年

とき
刻の審判の場へー

「祈り」 荘司貴和子展

2013年 2014年
10月26日(土)～1月13日(月・祝)

梅野
記念
絵画館
信州 東御市
www.umenokinen.com

同時
開催 第13回 私の愛する一点展

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 ■ TEL 0268-61-6161 ■ 午前9時～午後5時 ■ 入館料 800円 (高校生以上) ■ 月曜休館 (11/4 開館、11/5 休館、12/24～1/6 休館)

「莊司貴和子展」開催にあたって

梅野記念絵画館 館長 佐藤 修

莊司貴和子に関する文献資料は少ない。中で、1980年(昭和55年)の「藝術新潮」8月号に掲載された加山又造氏の真情のこもった評が今もって新鮮で読む者の胸を打つ。

曰く

「稀有の才能に満ち」「単純極まりないのに、典雅で、えらくしゃれた感じ」「日本画という制約の多いとも思える素材、技法で、日本画のみが可能と思える抽象作品を、地道に、しかも才能豊かに、一貫して発表しぬいて居られ」「胸をときめかして見たのである」

「加山又造が推す莊司貴和子」と題され、39歳の若さで亡くなった画家を讃えたこの文章を読み、胸深くにしっかりと留めた人物がいた。当時東京京橋で「美術研究藝林」を拠点に活動していたコレクター梅野隆さん(当館前館長)である。

この画家の絵に出会いたい、という梅野さんの一念が通じたかのように、平成18年、とあるオークションで梅野さんは、遂に莊司貴和子の大作を射止めた。今回展示される「玄海の月」である。

以来、いつか莊司貴和子の展覧会をとの梅野さんの夢は、残念ながら生前に実現することはなかったのだが、昨年の春、絵画館で、私たちはご夫君の莊司準さんの突然のご訪問を受けるのである。そうして今回の展覧会開催の道が開けた。

梅野さんがあの世で念力でも掛けたのであろうか。まるで誰かが操っているかのような、ふしぎな巡り合わせであった。「藝術新潮」で、梅野さんが加山又造の評文を目にしてから30年を超える時間が経っていた。

画家が亡くなった翌年遺作展が開かれた。それ以来の展覧会である。それだけの時間をおいたにもかかわらず、今回、函から出された作品は、まるで昨日描かれたかのように瑞々しい色彩を放って姿を現した。

「稀有の才能」が生んだ「典雅」な作品の数々、画家が大きな可能性を秘めたまま若くして逝ったことを心から惜しむ。この展覧会を機に、是非再評価されることを願う。



有明海 1976年



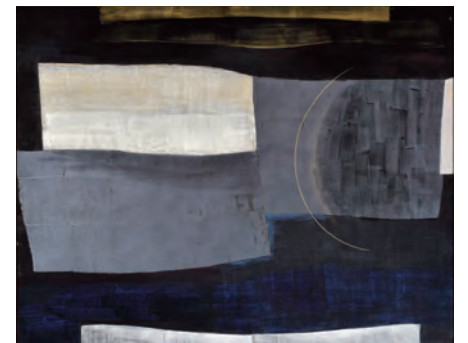
社にてII 1977年



作品I 1972年



作品'74-I 祭りの夜 1974年



白いかたち 1978年

莊司貴和子 略年譜

- 1939年 神戸市須磨区に中村穰夫、美千子の次女として出生。
- 1943年 父の転勤に伴い、一家で長崎市に移住。
- 1956年 この頃、石橋美術館の展覧会を見て絵の道を決意したという。父の転勤で東京に移る。都立駒場高等学校芸術科(現都立駒場芸術高校)転入。
- 1958年 同校卒業。須田洪中から受験指導を受ける。
- 1959年 東京藝術大学日本画科入学。
- 1963年 同校卒業。この頃より母校駒場高校ならびに私立駒込学園高校で非常勤講師(絵画)となる。

- 1964年 新制作協会日本画部春季展出品。以後、1974年まで連続出品。
- 1971年 莊司準と結婚。
- 1973年 新制作春季展で春季展賞受賞、翌年も連続受賞。
- 1974年 第1回創画会展出品、以後1978年まで連続出品。
- 1975年 春季創画展で春季展賞受賞、以後1978年まで連続受賞。朝日カルチャーセンター日本画教室講師として勤務。
- 1978年 初夏、病の症状あらわれる。
- 1979年 6月5日腸癌のため死去、享年39歳。
- 1980年 東京芸大同期生達の手により遺作展開催(東京銀座「彩鳳堂」にて。)

■施設情報、開館案内

とうみし
東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>
 〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1
 TEL0268-61-6161、FAX0268-61-6162、umenokinen@ueda.ne.jp
 開館時間 午前9時～午後5時(16:30迄にご入館ください)
 入館料 800円(高校生以上) 15名以上団体 700円
 身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。
 休館日 10月28日、11月5,11,18,25日、12月2,9,16日
 12月24日から1月6日は年末年始休館

■2013～14年イベントスケジュール

- 10月26日(土) 13:00 一点展、莊司展ギャラリー・トーク 入館料のみ
- 11月22日(金) 15:00 「木を植えた人」を聴く会 朗読:榊原忠美(劇団クセックACT) ¥1,800
- 11月23日(土) 11:00
- 12月1日(日) 15:00 あなたに捧げる一曲コンサート 出演:上原ひろ子、宮澤等 ¥2,500
- 1月13日(月・祝) 14:00 新春寄席 出演:立川談慶 ¥1,800

詳細はHP、お電話にて。
 金額は入館料を含みます。

■アクセス

- お車** 練馬ICから2.5時間
- 鉄道** 東京から最速2時間
 しなの鉄道「滋野」下車、タクシー10分
- ◆関東、北陸方面から
 上信越道東部湯の丸インターから15分
- ◆中部、関西方面から
 長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間
- ◆関東、北陸方面から
 北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、滋野下車。
- ◆中部、関西方面から
 特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換。滋野下車



同時開催 第13回 **私の愛する一点展** 「絵は絵自体の魅力こそすべて」 絵画、彫刻、工芸etc
 涙、笑い、感動、発見、幸運、運命、珍談、自讃、願い…
 作品にまつわるドラマを添えて、全66作品を展示。